

民間プールでの水泳授業推進

豊橋市教委

19校が今年度導入

バタ足など学ぶ
鷹丘小の3年生

豊橋市西小鷹野4の

「グランドパシフィック
スポーツ俱楽部」で9日、

市立鷹丘小学校の水泳授業があつた。市教育委員会

は小学校の水泳授業にスポーツクラブなどの活用を進め、今年度の導入は19校に増えた。専門のインストラクターを複数置き、担任教員の負担軽減も図れるという。

校内プールの維持管理や指導教員の負担軽減などを狙いに2018年度から始めた。新型コロナウイルス禍で3年ぶりに水泳授業が再開され、今年度は新たに17校を加え、11施設で開く。施設更新したばかりの高根、中学と併用する前芝を除く50校への導入を目指す。



指す。

授業は施設休業日や當業開始前などを利用す

る。2コマ相当の65分間授業で、4回受けけると必

要単位を満たす。

この日は3年生約60人が25㍍プールでビート板を使つたバタ足泳法などを教わった。複数のインストラクターが水中で泳ぎを教え、担任教員はプールサイドで児童の見守りなどに専念した。

度に全児童が目標を達成したという。【加藤広宣】

指導者数増で 担任負担は減

担任の竹田雅亮教諭(34)は「校内プールと違つて指導者の数が増えるので負担は減る。泳げ

税務は竹田
豊橋市東郷町
0532-61-1111

ない子にも目が届いて指導の質も高まる。プロの教え方を学ぶ好機にもしたい」と期待した。

鷹丘小では当初、日安

として6年までに25校完結課によると、導入初年